

吾妻川流域では、浅間山や草津白根山の麓に高原が広がり、キャベツなどが栽培され、草津温泉をはじめとする数多くの温泉が湧き出しています。このような美しい自然を守り、安全で豊かな暮らしを実現するために、砂防事業を通じてさまざまな対策・整備を進めています。

平成21年度『土砂災害防止月間』での取り組み



毎年6月の土砂災害防止月間中に管内の小学生を対象に「砂防施設現地見学会」を開催しています。今年、長野原出張所では6校 94名の児童達に“砂防(SABO)”について学んでもらいました。

現場で働く人から直接話を聞きました



何が見えるかな？



コンクリート工場の大きさにビックリ！

子供達は初めての経験に興味津々です。今まで触ったことがない測量機器を覗いたり、普段は立入ることの出来ない砂防の工事現場を見学してもらい、砂防の役割などを学習してもらいました。



谷沢川第四砂防堰堤工事現場にて



大前第十一床固工事現場にて



千俣床固群（緑の砂防ゾーン）にて

浅間山の四季折々

春



孺恋村田代地先「愛妻の丘」より (H21.5撮影)

【砂防工事のご紹介】

吾妻川(孺恋村大前地先)での大前床固群工事



大前第十一床固工工事

孺恋村大前地先で工事中の大前床固群は、出水期を迎え、休工に入りました。

出水期間

6/1~10/31まで

河川内での工事は11月より再開する予定ですので、引き続き地域住民の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

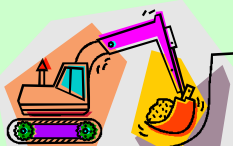
利根川水系砂防事務所では、ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/> で事業概要や浅間山・草津白根山の監視映像をリアルタイムで見ることが出来ます。

発行にあたって

この度、管内の関係町村における地域の皆様をはじめ、多くの方々に吾妻川流域における砂防事業について知ってもらう機会として『長野原だより』を創刊致しました。今後も、定期的に砂防に関する様々な情報を提供してまいりますので、これに関してご意見やご感想、問い合わせなどの情報がございましたら、ご遠慮なくお寄せ下さい。

【問い合わせ先】

0279-82-2138



大前第十三床固工工事



群馬県への応援対策として 遠隔操縦対応型ショベル（バックホウ1.4m³）を派遣

群馬県が管理している一級河川 吾妻川本川右岸（吾妻郡嬭恋村大字鎌原地先）において、5月7日に河岸崩落が発生しました。
この崩落した堆積土砂の撤去及び二次崩落等の危険性より、群馬県知事からの要請を受け、群馬県の応援のため、災害対策用機械『遠隔操縦対応型ショベル（バックホウ1.4m³）1台』を派遣し、河川災害応急対策工事（河道閉塞の解消）が実施されました。



崩落堆積土砂量
推定 6,800m³

遠隔操縦対応型ショベル
（バックホウ1.4m³）
※北陸地方整備局より



遠隔操縦による堆積土砂の撤去作業状況



送信機



オペレータ



崩落直後



応急対策完了後 搬出土砂量は4,250m³